

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【公表番号】特表 2017-514963 (P2017-514963A)

【公表日】平成 29 年 6 月 8 日 (2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報 2017-021

【出願番号】特願 2016-566727 (P2016-566727)

【国際特許分類】

C 08 F 290/12 (2006.01)

C 09 K 3/10 (2006.01)

【 F I 】

C 08 F 290/12

C 09 K 3/10 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 31 日 (2019.5.31)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

上記の不飽和基含有ウレタン樹脂 (A) は、お互いに、上記のオリゴマージオール (a)、二官能エポキシ (メタ) アクリレート (b) 及びポリイソシアネート (c) を反応させることにより製造できる。この反応は溶媒の存在下又は非存在下で実施することができる。適した溶媒として、有機溶媒が使用される。有機溶媒は、例えば、炭化水素、ケトン、エーテル及びエステルから選択される化学的に不活性な溶媒を含む。反応終了後、使用された有機溶媒は、例えば減圧下での蒸留により、製造された不飽和基含有ウレタン樹脂から除去される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

実施例 7

イソノニルアクリレート 282 g 及びフェノキシエチルアクリレート 94 g の混合物の代わりに、ノニルフェノキシポリエチレングリコールアクリレート 300 g 及びイソボルニルアクリレート 76 g の混合物を成分 (b) として使用した以外は、その他の全ての方法は同じままで、実施例 1 に記載された同じ手順で実施した。これにより、硬化性組成物の全質量に基づいて、17,000 の数平均分子量 M_n 及び 0.21 mol/kg の不飽和度を有する不飽和基含有ウレタンアクリレートオリゴマー (A) 50 質量%、アクリル酸エステルモノマー (B) 47 質量%、及び光重合開始剤 (C) 3 質量%、を含む放射線硬化性シーリング剤組成物を得た。